

ジャガイモ 植付け



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm



夏前に出回るジャガイモの植付けはこの時期から始まります。ジャガイモの種芋，芽の出そうなところが二カ所以上含まれるような断片に切り分け，日陰に1週間おいて発芽させます。（石灰や草木灰をまぶさないことで）切り口に黒いカビがすこしくらい生えることになってもOKだそうです。こうして芽を出させたイモ断片を，新芽を上にして深さ7 cmに20 cm 間隔で植えていきます。今年は「キタアカリ」など4種類が3ウネに作付けされました。ジャガイモは冷涼な気候下の痩せた土地でも速く成長し多くのイモをつけるので寒冷地の食料として重要ですが，もったいないことに，バイオエタノールの好原料でもあるそうです。5月にはナスによく似た可憐な花を咲かせます，昔は花を楽しむ作物だったとか。濃い緑の新芽が現れてくると楽しみがまた増えます。



2月23日、芽を出したジャガイモを新しいウネに植えました。